

活性化モデル商店街の成功事例

商店街：稲武商工会

●キャッチフレーズ

買い物・生活・コミュニティに対応できるまち稲武

◎商店街の将来ビジョンの実績

- ・ 宅配、配達及び御用聞き、常備品箱設置事業の他に買い物バスの試行事業、集会所等へのPR事業も行い利用のさらなる拡大につなげた。
- ・ 商工会内にソーシャルビジネス検討委員会を設置し、利用者や関係者のアンケート等を参考に、事業推進方法や改善策を検討した。
- ・ 他団体、自治区等の協力を得て、事業の推進を図った。(利用候補者の紹介等)
【協力依頼団体】自治区(区長会)、民生委員、社会福祉協議会 他
- ・ 商工会と地元医師の連携による安否確認時の連絡体制の整備をはかった。
- ・ デマンドバスを買物バスとして活用することを考えていたが、国道沿い店舗近くにバス停がない等の問題が発覚した。しかし、28年4月にバス停設置が決まり、今後の活用が期待される。
- ・ 現在は20軒の加盟店がある。この買い物支援システムを自店の武器として事業展開する店舗がある。

◎事業実績

○いなぶのお買物配達便

- ・ 住民への宅配サービスを本格的に運開始した。宅配の他に、常備品箱設置事業として菓売りのような箱に常備品を入れ、定期的に補充した。(26年度)
- ・ 宅配のみでなく、集会所や老人クラブ等への移動販売を行い、固定客の拡大と新規顧客の開拓を目指した。(27年度)

◎事業の効果

買い物支援システムの知名度が向上した。(H25年度 97%、H26年度 99.8%)



(買い物支援システムの宅配の様子)